

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	コンピュータ2	
科目基礎情報							
開設学科	鍼灸科		コース名		開設期	後期	
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位		授業形態	実習			
教科書/教材	30時間でマスターOffice2016（実教出版）						
担当教員情報							
担当教員	吉田 友美			実務経験の有無・職種	有・高等学校教員		
学習目的							
情報処理リテラシー教育としてのワープロ、表計算について学ぶ。また、プレゼンテーションの手段としてコンピュータ活用の技術を持つことを学ぶ。ハードウェアの扱い、代表的なソフトウェアの扱いなどを体系的・段階的に学び身に付けることを目的とする。							
到達目標							
社会人として最低限必要な情報リテラシー(情報活用能力)の習得を目指す。ハードウェアの使用手法やキーボードからの入力やマウスの使用手法から学ぶ。また、マイクロソフト社のWord、Excel、PowerPointの使い方を一から学んでいく。研究論文を作り、統計処理をし、論文発表を行えるまでのスキルを学び、身に付ける。また、ポスターなどの作り方も学ぶ。							
教育方法等							
授業概要	この授業ではコンピュータ1で学習した内容を発展させ、より実生活で活用できる操作方法を学習する。後半はグループ単位で活動し、与えられたテーマに対して課題を整理し、改善案を検討したうえで、その内容をプレゼンテーションする。						
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は課題評価の対象とならない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。講義時間内に終わらない課題は宿題となるので講義時間中に終わるよう努力すること。ファイル保存用のUSBメモリを1本用意すること（容量は1GB以上。授業専用で用意すること）。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	90%	授業中に提示する課題で評価（実践課題50%、Excelの活用25%、PowerPoint15%）				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	10%	授業中に実施するタイピング練習の練習態度及び練習成果で評価				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	Excelの活用(1)			前期で学習した内容を確認する。IF関数（条件分岐）の式の書き方を理解する。			
2回	Excelの活用(2)			IF関数を使った複雑な条件分岐の方法を理解する。RANK.EQ関数（順位付け）の式の書き方を理解する。			
3回	Excelの活用(3)			3つの検索関数(VLOOKUP,COUNTIF,SUMIF)の違いと式の書き方を理解する。			
4回	Excelの活用(4)			Excelのデータベース機能(並べ替え、フィルタ)、その他便利な機能の使い方を理解する。			
5回	Excelの活用(5)			これまで学んだ関数やデータベース機能を組み合わせて業務への活用を検討することができる			
6回	Webページの仕組みと作り方			HTML5の記述方法と簡単なWebページの作成を体験し、Webページの仕組みを理解する。			
7回	PowerPointの使い方(1)			PowerPointの基本的な操作方法(テキスト入力、図形作成他)を理解する。			
8回	PowerPointの使い方(2)			PowerPointを使った資料作成のポイントを理解する。自分で発表の流れを検討し、資料を作成することができる。			
9回	PowerPointの使い方(3)			作成した資料をよりわかりやすくするための工夫ができる。ノート欄を活用することができる。			
10回	実践課題(1)			発想法の内容と実施方法を理解し、各自のアイデアを整理してグループ活動の方向性を決定する。			
11回	実践課題(2)			提案内容の詳細を、インターネット上の情報も活用しながらまとめることができる。			
12回	実践課題(3)			聴衆を想定したプレゼンテーション資料をグループ内で分担して作成することができる。			
13回	実践課題(4)			他のメンバーと内容や体裁を確認し合いながら、グループとして統一感のある資料を完成することができる。			
14回	実践課題(5)			本番を想定した練習を行い、相互評価をフィードバックして、本番により良い発表ができるようになる。			
15回	実践課題(6)			聴衆を前にプレゼンテーションを実施する。他のグループの発表を客観的に評価し、自身の今後にも生かす。			